

徳山ダムに係る導水路検討会（第7回幹事会）

日時：平成19年4月13日（金）

議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - 1) 連絡導水路の計画案について
 - 2) 長良川河口堰利水合併案について
4. 閉会

第7回徳山ダム係る導水路検討会幹事会資料

平成19年4月13日

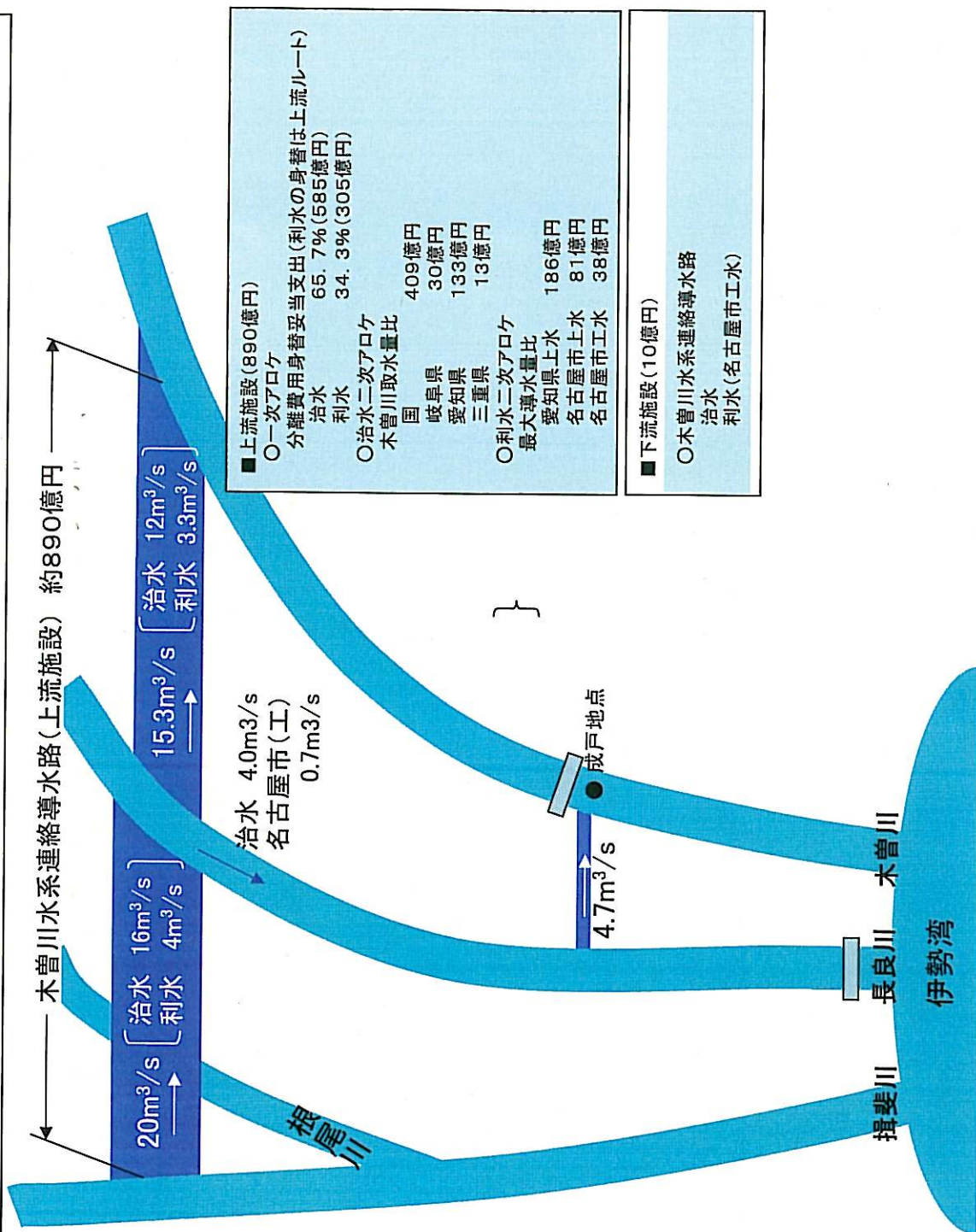
木曽川水系連絡導水路計画および長良川河口堰利水事業について

1. 木曽川水系連絡導水路計画の概要 … P1
 - ・ 徳山ダムに確保した渇水対策容量を木曽川に直接12m³/s、長良川を経由して4m³/s注水する。
 - ・ 徳山ダムで開発した利水を木曽川に直接3.3m³/s、長良川を経由して0.7m³/s導水する。
2. 木曽川及び長良川の流況改善効果 … P2～P5
 - ・ 木曽川では、阿木川ダム、味噌川ダム、新丸山ダムの不特定容量と合わせ成戸地点で40m³/s確保が可能となる。
 - ・ 長良川では、岐阜市市街地を含む中流部の流況を改善する。
3. 木曽川水系全体の利水安全度の向上 … P2, P6
 - ・ H6渇水の流況で試算した結果、既存施設を現行の運用を実施した場合、木曽川4ダム(牧尾、岩屋、阿木川、味噌川)の枯渇日数は36日であるのに対し、木曽川水系連絡導水路及び新丸山ダムを含めた水系総合運用を行った場合、3日間に短縮される。
4. 長良川河口堰開発水の利用とその効果 … P2～P6
 - ・ 将来的に木曽川水系連絡導水路事業と合わせて長良川河口堰利水導水事業を実施した場合には枯渇がない。

木曽川水系連絡導水路計画の素案

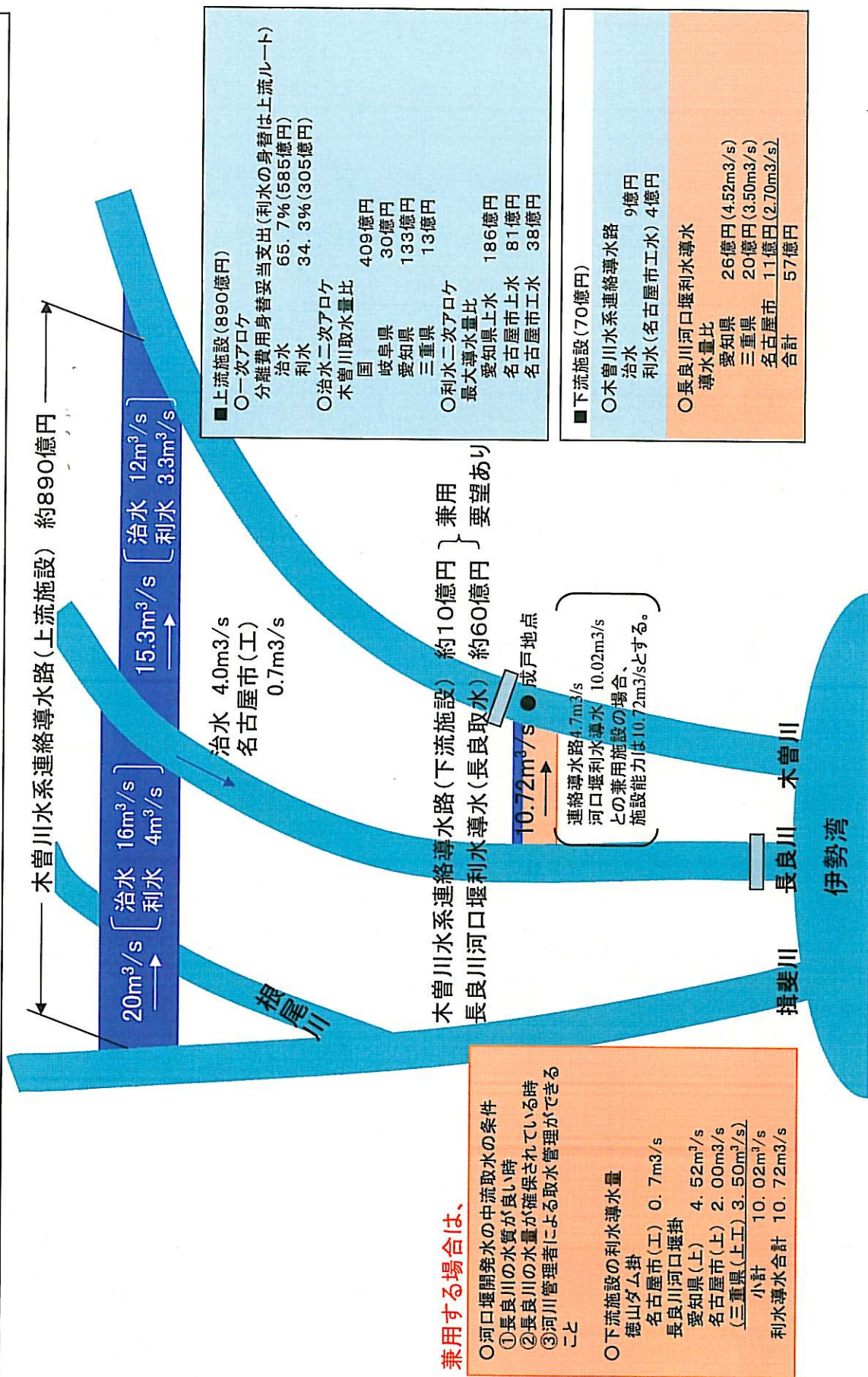
1

- 木曽川水系連絡導水路全体事業費 約900億円(長良川河口堰利水導水を合併した場合の全体事業費は約960億円)
- 目的 ①渇水対策容量の導水(木曽川への導水量16m³/s。うち4m³/sは長良川経由) ②徳山利水導水(導水量4m³/s。うち0.7m³/sは長良川経由)
なお、長良川経由4.7m³/sの下流施設については、長良川河口堰利水導水(利水事業費約60億円)との兼用要望あり。



木曽川水系連絡導水路計画の素案 (連絡導水路及び河口堰導水路計画) 2

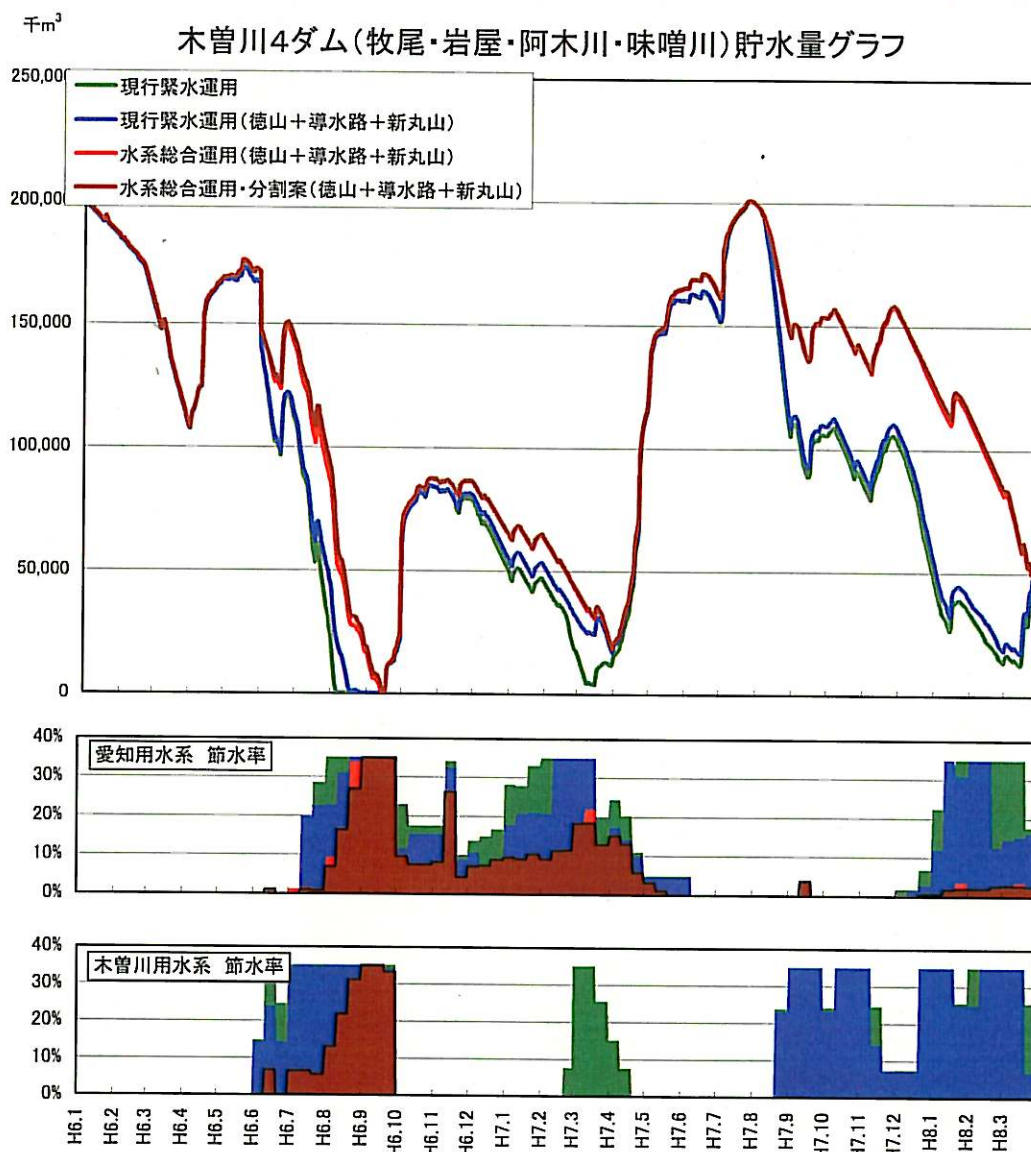
- 木曽川水系連絡導水路全体事業費 約9000億円(長良川河口堰利水導水を合併した場合の全体事業費は約960億円)
- 目的 ①渇水対策容量の導水(木曽川への導水量16m³/s。うち4m³/sは長良川経由) ②徳山利水導水(導水量4m³/s。うち0.7m³/sは長良川経由)なお、長良川経由4.7m³/sの下流施設については、長良川河口堰利水導水(利水事業費約60億円)との兼用要望あり。



利水効果（節水・ダム枯渇状況）

3

チェック未了につき
未定稿



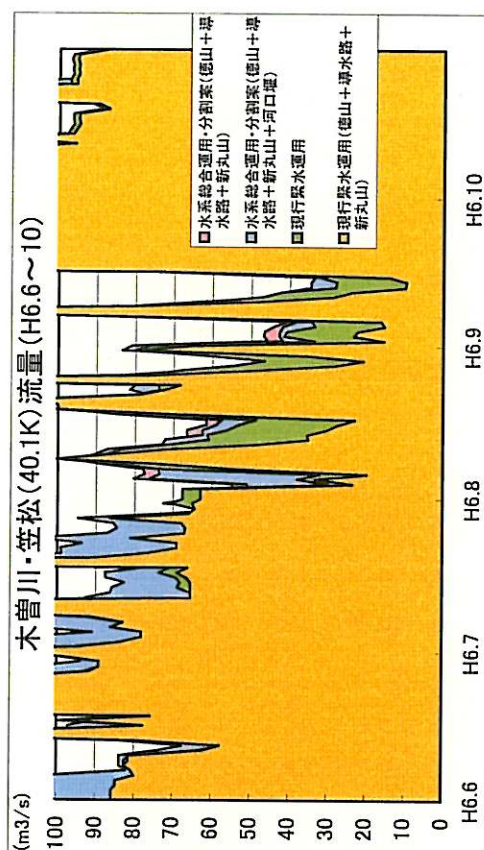
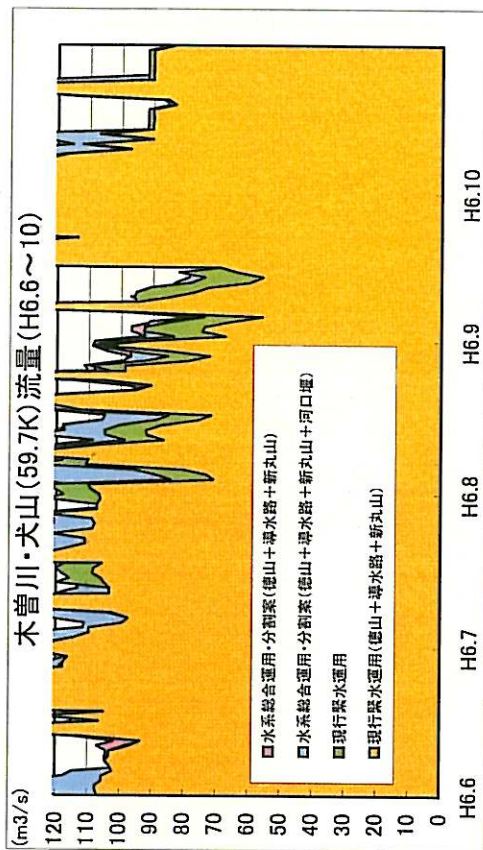
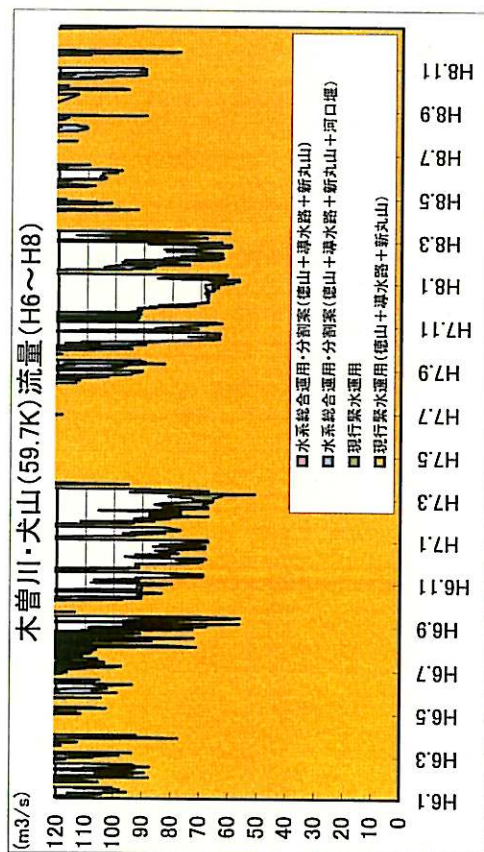
■木曾川4ダム(牧尾・岩屋・阿木川・味噌川)枯渇日数

	4ダム枯渇期間(平成6年)	枯渇日数
現行緊水運用	8/6~8/18, 8/23~8/24 8/27~9/16	36
現行緊水運用 (徳山+導水路+新丸山)	8/27~9/6, 9/8~9/16	20
水系総合運用 (徳山+導水路+新丸山)	9/14~9/16	3
水系総合運用・分割案 (徳山+導水路+新丸山)	9/15~9/16	0

流況改善効果（木曽川中流部の流況） 平成6年試算値

4

チェック未了につき
未定稿

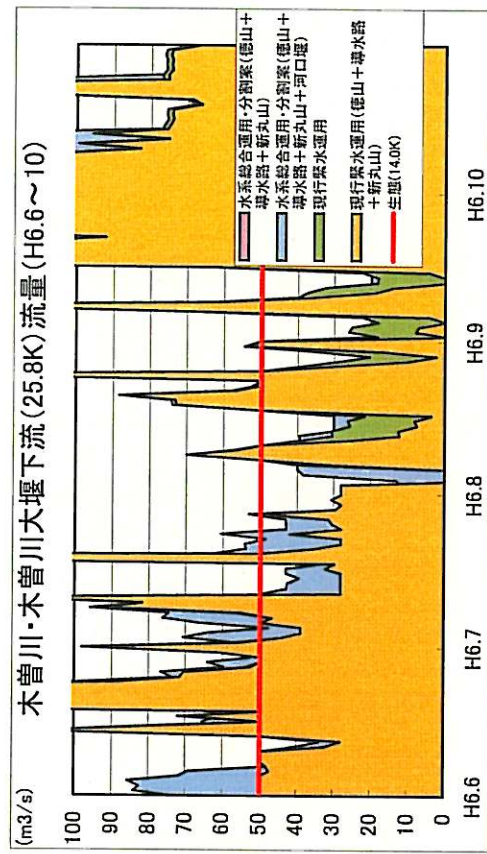
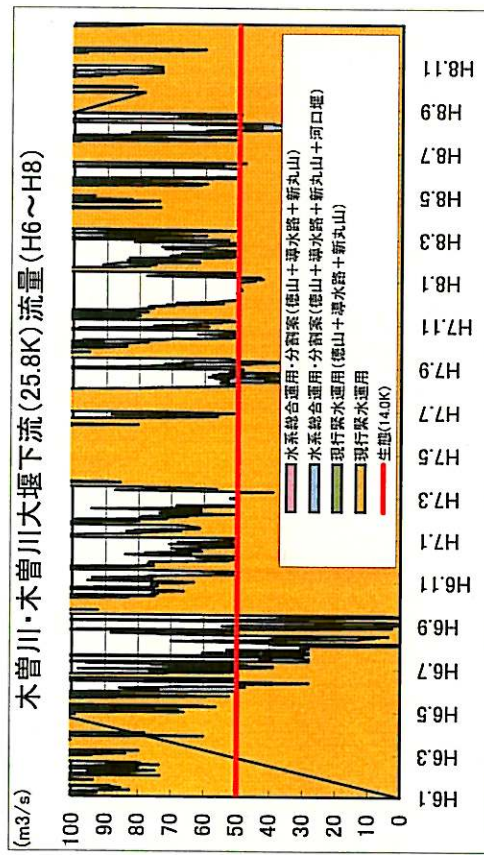


この資料は、木曽川水系の水資源施設を最大限有効に活用した場合の概略試算を行ったもので、一つの考え方を示したものです。この計算にはいくつかの仮定が含まれており、仮にその実現を図るためにはいくつかの課題を解決するとともに関係者の合意を図る必要があります。

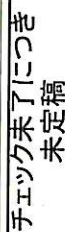
流況改善効果（木曽川下流部の流況）平成6年試算値

5

チェック未了につき
未定稿



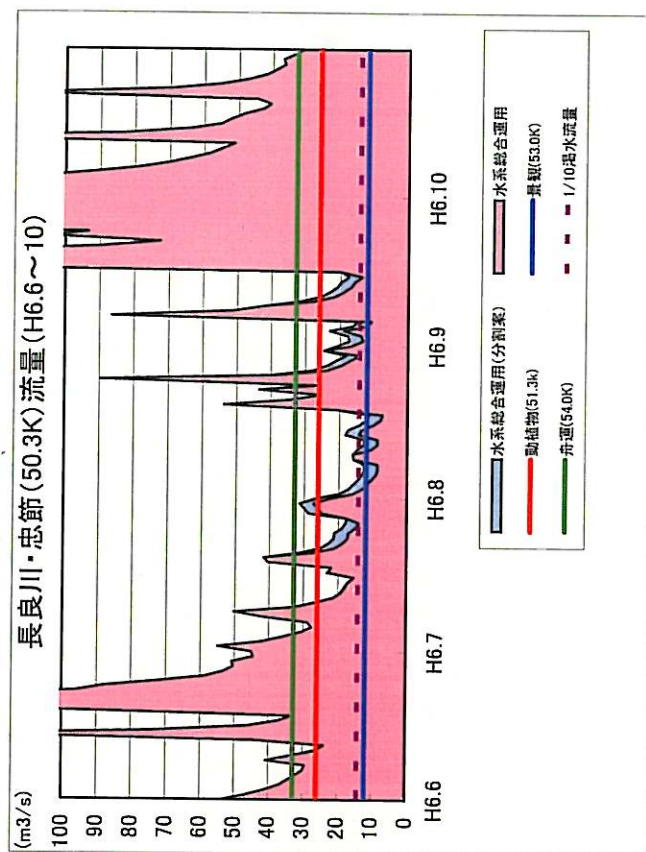
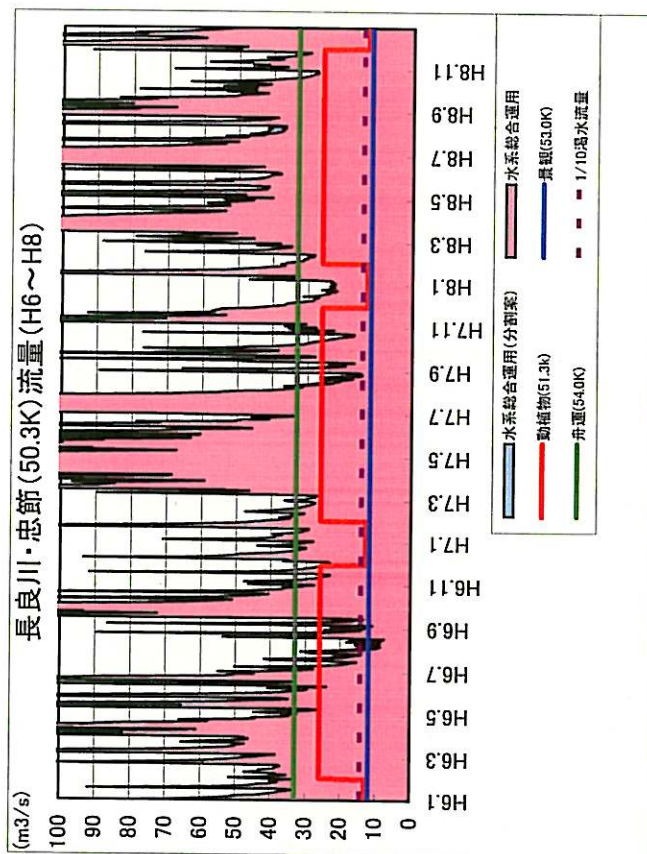
この資料は、木曽川水系の水資源施設を最大限有効に活用した場合の概略試算を行ったもので、一つの考え方を示したものです。この計算にはいくつかの仮定が含まれており、仮にその実現を図るためにはいくつかの課題を解決するとともに関係者の合意を図る必要があります。



流況改善効果（長良川中流部の流況）平成6年試算値

7

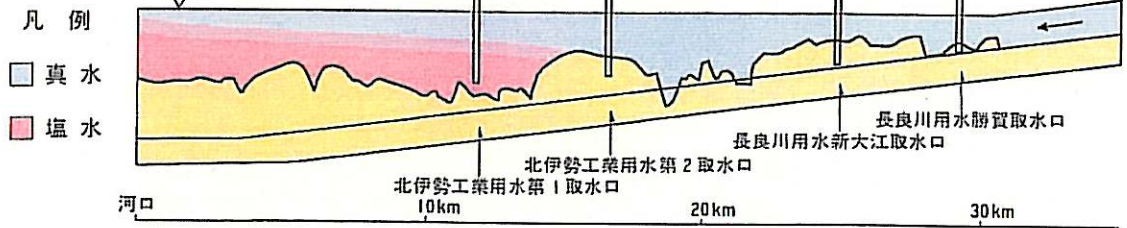
チェック未了につき
未定稿



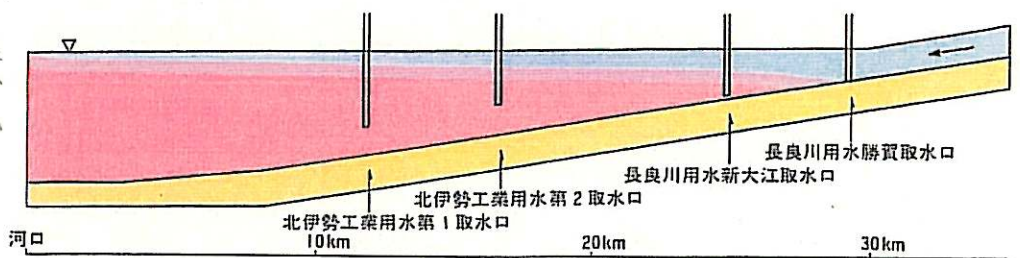
この資料は、木曽川水系の水資源施設を最大限有効に活用した場合の概略試算を行ったもので、一つの考え方を示したものです。この計算にはいくつかの仮定が含まれており、仮にその実現を図るためにはいくつかの課題を解決するとともに関係者の合意を図る必要があります。

長良川のしゅんせつと塩水そ上の防止

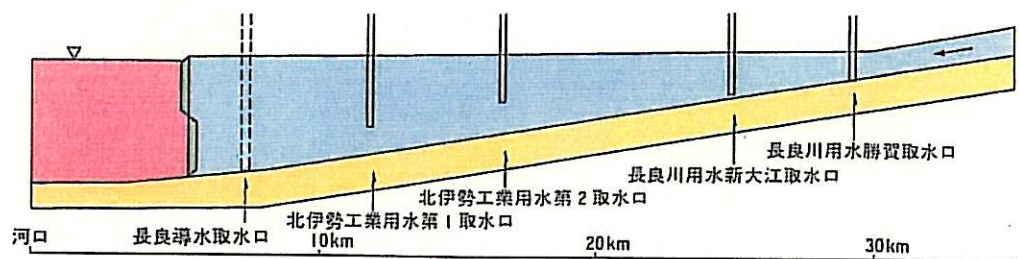
■しゅんせつ及び長良川河口堰建設前（塩水は約15km付近のマウンドではほぼ止まっている）



■潮止め堰が無く長良川をしゅんせつした場合（塩水は約30kmまで上流へそ上することが予測される）



■長良川河口堰建設後（潮止めをしてマウンド等のしゅんせつをする）



排砂状況



ポンプ船によるしゅんせつ

長良川

船運航に制限も

「これでは、猶丹が死ぬまで母を待たしたとはなかつた。これ程、酷い事はない年も珍しい」と愛蔵。

水鏡不語で、アノ王母となる川底の居いたとケモ聞かざらん、開き非なりこの時阿ノは貴子に同様に在るが今年迄一回

りば小い」と誦經の如く難達元也。猶が捕らえられぬ大の火の穴に墜ちてある止龍が

水鏡不語云、猶子を初て上座に向ふ誦經(念)と雖も餘田中(兼用)云

通帯は、略で調帯となるに於、今年は半分程度といふ。

調帯は、龍洞所から500呎上段に上り、そこから、川を下り、若くは細川に流れて、船曳橋を越けた30人乗り以上の大船に乗る、上流に上るの

龍洞所所の新江崎通所所は、龍洞間は渡れないが、せうかく瀬いふところ、たきの中に眼ふ」といふ。

龍洞地方気象台によると、龍洞市内の龍洞谷は、月が例年のより、1月の

県内川網側の年間乗客は、1973年の33万をピークに減少傾向にあるが、今年は愛知万博効果もあって、予約だけで昨年の乗客(10万2431人)を上回る申し込みが入っている。今のところ、水風不足

大府と東海の一部
渇水対策で初

田土交通を、第三、四、五の條に規定する。又、供給用水と本川用水とをどうする。第六川水系爲害水利調節會の臨時會が、四月、名古屋市中の町から、御水対策として、長川河口堰の水を、初めて供給施設以外への流弊大府市と豊橋市の、部の上水道に自給に供する。と規定した。本川水系では、今年、六月、今月共に、は雨に降つた。沙を供給する。此時、

鵜飼いへの影響 6/15 讀賣(朝)

大渇水の
94年以來
市民にも節水訴え

は、本市公共機関を圍繞七ヵ所にある中、小牧市
區本郷に於いて不足が懸念される。市立小牧
市立第一小の不足は、約一、九〇〇坪である。
雪水停止した。大雨水きたた一、九〇〇坪まで
まで、雨排水は本館には、このまま溜水が續く
と、断水に於いて非常事態を招けられ、と、市
民の間に、この断水が噂が起つてゐる。

市内の本道の約半は、九四坪七月、市立小
牧市立第一小（飯沼下）中学校の併設のプール
場、の貯水量は、千五〇〇坪、市立水ノ
戸の貯水場、千五〇〇坪、市立水ノ戸

（本村 潤）

セターブル(細中)
の借展期間短縮を決めた
当時の所長幸一郎に追っ
ていふ

十三日に開した市海
水政策本部は、倉に貯
水するに掛かるコストを
配ったが、各館にコス
トを張り、平価販売を
設備に及びては、二十
十四年には毎々、各館
取組むべきを勧告した



「今度も、四様の旗盤
を返らざるを得ない可屈
性が高い」と対策本部。
すゝす。

噴水停止 6/26 中日(朝)

名古屋市、渇水対策で12%

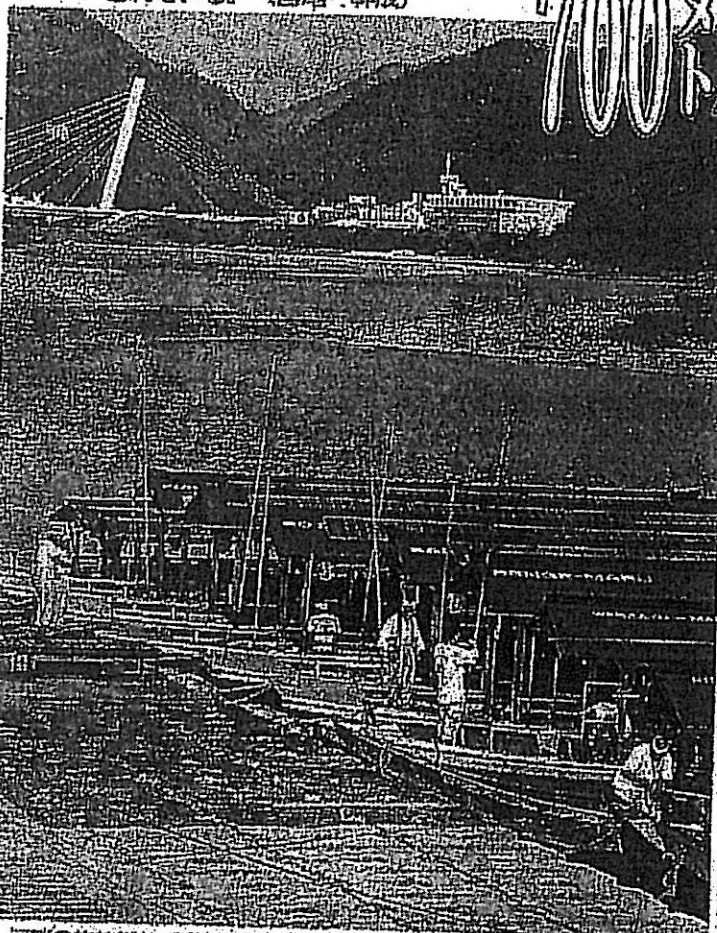
下の諸地方のダム貯水湖 下の諸地方は、名古屋市 上ヶ水湖は、千八百 水湖の貯水を始め、七 月十三日に現行貯 水の水を止む。各 町、水原、中津島、 南宮などにも水の出方が やや遅くなる。10日迄 なる間は十年ぶり、	田圃田圃 田圃の貯水は名古屋 市内の田圃、四批田 井、新大池、菅野等 各町の畝と田圃の一 部が貯水十五萬、 千八百畝、千一 石の田圃は、水 を調整し、餘々に灌漑 する。市田圃約千二百 畧は、早大で総貯水	田で特に田圃が多量あり、約千七百畧で水の が、三ヶ所に集つて 「一畧口を出る水の 五割は約二分、〇一年 に貯水・五分の灌漑を 施してゐる。 豊田県産物の二十三 日までの方法では、県 内では既に、田圃地方 の一畧、田圃田圃五 町、市田圃の灌漑、
--	--	--

水道減圧 6/28 中日(朝)

長良川 水位低下で 上れない

東海地方は11日に梅雨入りしたもの、まとまった雨が少なく、長良川の水位は岐阜市内で例年より1メートルほど低下。同市の長良川鵜飼は、船外機で運行する大型観光船が上流まで上れない状況が続いている。鵜飼観光船事故所前には、雨水を知らせる張り紙が掲示されている。(宮尾 幹成)

大型観覧船 700トンが限界



河原の旅館街前で出船の準備をする鶴岡観光船。上流で水位が下がり、川の中央近くまで河原がせり出している＝岐阜市の辰良川で

上流に行かないのは、それが出てきたため、約七
千人乗りの二部と四十人乗り、五十人乗りの大
型船計十五隻。艀敷船の
一部はせんだん、乗船場か
ら約千五百メートル上流まで行
くことができたが、この
遅い艀敷船を上流まで行
かせていたため、ここ
川から盛瀬用水を引く時
期に頭になった船舶もある
（江崎所長）

「梅原の時期の漏水は非
常に珍しい。雨不足が、
江崎達三事務所長は
「極度の時期の漏水は非
常珍しい」と語す。
団体で艀敷船を利用す
るホテルや旅館の客室に
は、漏水の状態を前もっ
て周知。これまでもど
ろ吉備や大規模なキャッ
セルはないという。「収
入に影響はない」と見てい
る」（江崎所長）



水位が下がり、中州が現れた長良川＝岐阜市の長良橋付近で

少雨の影響じわり

岐阜県が県内を含む東海地方の梅雨入りを発表してから十八日で八日目になるが、まだまとった雨が少なく、東海地方では節水が始まるなど水不足の影響が各地でじわりと出始めている。

岐阜県地方気象台によると、梅雨入りしたとみられると発表された二十日から岐阜市で雨を観測したのは十一、十五、十六日の三日間。合計降水量は二五・五ミリで、平年の梅雨時に一日で降る量と変わらない。梅雨前線が南下して南下したまま東海地方に停滞しているため、雨雲が各地でじわりと出始めている。

5%の節水開始 東濃

○木曽川水系に頼っている東濃地方は各自で三〇％の節水に呼びかけ、一日から十五日までは、県営東濃広域水道の東濃地域では十五日から五％の節水を始めた。多治見、中津川など五市一町の水道となっている長野県・牧尾ダムの貯水率が九・四％（十六日現在）と渇水状態となっているためだ。六月末の貯水率の平年値は八〇％だが、同ダム地帯は、可児市では、広

鵜飼い船 操船に注意

○昨年は台風による増水で中止が相次ぎ、位がされた岐阜市の長良川鵜飼。今年は今のところ中止はなく、鵜飼代表の山下純司さん（左）は「鵜飼が少雨で水量は減ったものの鵜飼客へ及ぼす影響はあまりない」といい、船頭は船底を川底にすり合わせるように気を

アユ釣果にムラ

○アユ釣り客への影響も出始めている。郡上市内の長良川上流堰は、郡上漁協によると、水量が例年の半分ほどに。水温が上がったためアユの成長は悪くないというが、堰所によって釣果にムラが出ている。同漁協は「アユは増水期に増える（アユ）する。ひと雨きり増えるが、状況を見てアユ釣りに関係する人が多

行へが、船外機を載せたトイ付き船の場合、プロペラが川底に当たってしまつたため、七日以降は上げられない日が続いている。

アユのえさとなる川底の石のゴケを生き物が餌にしている。アユも少雨で餌があるほか、水位が低いと魚が泳ぐスピードが遅く、鵜飼による漁獲量は例年の半分以下」と山下さん。「浅いなら浅いでゆっくりに釣るつもりで、そのときどきの楽しみがある。こちらは自然の成り行きに合わせるだけ」と語った。